

Rotary Yachiyo

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう



2025-26 年度国際ロータリーメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

2025-26 年度クラブテーマ

「親睦が原点」

週報 第2817回

2025年12月5日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：年次総会

担当：会長幹事

次回例会

テーマ：「これまでの日本での経験」について

担当：青少年奉仕委員会

卓話者：交換留学生 レヒーナさん

◆◆◆第2816例会◆◆◆

司会 市原正男

「奉仕の理想」「もみじ」 斉唱

お客様

岡三証券株式会社 投資情報部 部長
チーフストラテジスト 小川佳紀様

会長挨拶

会長 中島貞好

本日もお忙しいなか例会にご出席いただき、心より御礼申し上げます。今週は、日中は暖かいのですが、朝の空気が冬そのものになってきました。街のイルミネーションも始まり、年末を意識する時期となりました。気持ちの面でも慌ただしくなっていますが、こうして変わらず例会の時間を共有できることに、大きな安らぎと活力をいただいております。インフルエンザが流行っております。どうか皆さま、体調に気をつけながら、心穏やかに年末を迎えられますようお願いしております。

さて、来月12月は、クラブ活動に関連する前向きな話題が多く届いております。まず12/5金曜日の例会は年次総会です。3年に一度の定款の改正による八千代ロータリークラブ細則の改正と、次年度役員理事選任案がございます。

12/14(日)のニューリバーロードレース

12/18(木)のクリスマス家族会

ロータリーは奉仕活動の団体ではありませんが、人と人が出会い、学び合い、励まし合うことで成長していく“人間の組織”でもあります。皆さまの一つ一つの行動が、クラブ全体の雰囲気をつくり、活動の原動力となっていることを改めて実感しております。今期も折り返しに差し掛かってまいりました。これまで各委員会・担当の皆さまが準備を進めてくださった奉仕活動も、いよいよ実施の段階に入ってきます。着実な計画と丁寧な準備を重ねてきたおかげで、今年の事業は多くの方々に喜んでいただけるものになると確信しております。奉仕とは「何をするか」ではなく、「どんな思いで行うか」が大切だとロータリーは教えてくれます。どんなに小さな行動でも、心からの思いやりと継続性があれば、大きなインパクトにつながります。今後の活動においても、どうか皆さまのお力添え、ご協力をよろしくお願いたします。また、クラブの未来という意味では、新会員の増強・定例事業の発展など、これから取り組むべきテーマもあります。ロータリーは時代に合わせて進化していく組織です。伝統を守りながらも、時代に求められるロータリーとは何かを考え続ける。そのバランスの中に、本当の発展があるのだと思います。クラブが変わるとき、必ずそこには人の成長があります。そして、人が成長するとき、必ずそこには仲間の支えがあります。その両輪が回り続ける限り、私たちのクラブは必ず前へ進んで

いくと信じています。年末が近づくにつれ、これまでの半年を振り返る機会が増えてまいりました。行事の多さ、役割の重さ、思ったように進まなかったことなど、人によって感じ方はさまざまだと思います。それでも共通しているのは、「クラブのために」「地域のために」「仲間のために」と皆さまが行動してくださったことです。その積み重ねこそが、ロータリーの力であり、クラブの誇りです。残りの半年も、笑顔と前向きな気持ちを持って活動を進めていきたいと思っております。支え合い、学び合いながら、より良いクラブをつくっていきましょう。

幹事報告

幹事 朝戸健夫

- ・12/5は年次総会です。
- ・Rの友12月号は疾病予防と治療月間となっています。アレッツオ会長がご自身の体験を踏まえてのメッセージを掲載しています。またロータリー談義として3名のパストガバナーの対話が載っています。
- ・12/14はニューリバーロードレースで、みかんの配布を行います。
- ・12/18クリスマス家族会です。19日の例会はございません。

お祝い



中島会長のご子息が明後日結婚式との事ですのでクラブからお祝いをお渡しいたします。おめでとうございます。

委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 佐野忠信

12/14はニューリバーロードレースで、みかんの配布を行いますので、ご協力をお願いします。当日は7時半に市民会館裏側駐車場にご集合下さい。

お祝い

結婚記念日：浅野正幸会員

例会行事

出席委員会 委員長 大曾根 直

本日は岡三証券、投資情報部部長チーフストラテジストの小川佳紀様をお願いしております。

テーマ：今後のグローバル株式市場

展望と投資戦略

卓話者：岡三証券株式会社投資情報部
部長 チーフストラテジスト 小川佳紀様



私は千葉県出身・山梨県育ちで、2005年に岡三証券へ入社し、今年で社会人20年目となります。入社後4年間は営業を担当し、その後2009年に一度退職して他社へ転職し、株式マーケットの現場で改めて勉強する機会を得ました。2015年に岡三証券へ復帰し、いわゆる「出戻り社員」として、現在は調査・リサーチ部門で約10年にわたり、全国各地で年間50回ほど講演・セミナーを行っています。加えて、テレビ東京の朝の経済番組「モーニングサテライト」にも月1回ほど出演し、市場見通しなどをお話ししています。

さて、本題のマーケットの話に移ります。今年、日経平均株価が史上初めて5万円台をつけ、1980～90年代のいわゆるバブル期の高値を大きく超えてきました。世界的にも株式市場は堅調ですが、IMF(国際通貨基金)の世界経済見通しによると、足元の景気そのものは決して絶好調ではなく、「株は強いが景気はまだ途上」という年だったと言えます。一方で、来年以降については、アメリカを中心に世界の成長率がむしろ回復していく見通しとなっており、景気面では来年以降の方が明るい、というのが国際機関のコンセンサスです。特にアメリカでは、消費や雇用の減速、政府閉鎖問題などもあり、足元の景気はやや下り坂です。来年には中間選挙を控え、トランプ大統領としては「いかに景気を立て直して選挙に勝つか」が最大のテーマとなります。その文脈で、他国からの関税強化によって

財源を確保し、国内減税や景気対策に回すという発想がある程度説明できます。こうした政策運営を前提とすると、来年にかけて世界景気は緩やかながらも回復方向に向かう可能性が高く、それに伴い株式市場にももう一段の上昇余地があると考えています。一方で、「日経平均5万円はさすがにバブルではないか」「今から株を買っても遅いのではないか」という声も多く聞かれます。これに対して押さえておきたいのが、名目GDPとの関係です。日本の名目GDPは現在、年率約630兆円と過去最高水準にあり、経済規模そのものが拡大しています。株価は長い目で見れば、企業収益やGDPの伸びと概ね連動しており、経済規模が過去最高である以上、「株価も過去最高であること自体は理屈としておかしくない」と考えられます。さらに重要なのは、日経平均という指数の「中身」が大きく変化している点です。1989年のバブル期に日経平均株価が38,915円という高値をつけた時も、構成銘柄は現在と同じ225社でしたが、その当時の225社のうち、今も日経平均に残っている企業は約110社に過ぎません。つまり、40年近い間に採用銘柄の半分以上が入れ替わっているということです。見かけの株価水準は「あの頃も4万円、今も4万円」ですが、指数を構成する企業の顔ぶれは大きく変わっています。したがって、「当時がバブルだったから今もバブルだ」と単純に決めつけるのは適切ではなく、指数の中身や企業の質を見ながら、現在の株価水準を評価する必要があります。

次に、「どの国・地域に成長のポテンシャルがあるか」という観点です。足元では日中関係の緊張もあり、中国ビジネスはやや不透明な環境ですが、長期的な成長期待という意味では、やはり「インド」が重要なキーワードになります。インドは人口が中国を抜いて世界一となり、GDPの約6割を個人消費が占める消費大国です。人口増加と所得の伸びを背景に、消費市場としての魅力は一段と高まっています。加えて、道路・電力・都市インフラなど、まだまだ整備途上の分野が多く、日本の建設・プラント関連企業をはじめ、多くの企業にとってビジネスチャンスが広がっています。実際に現地に行くと、走っている車の3台に1台は日本のスズキ車という光景が見られます。スズキはインド国内で約4割の自動車シェアを持つと言われており、日本企業がインドの成長を取り込みながら存在感を高

めている好例です。「人口と消費」「インフラ整備」という2つのエンジンがインド経済を牽引しており、今後もビジネス・投資の両面で注目すべき国と考えています。

では、「具体的にどこに投資すべきか」という問いにどう向き合うべきでしょうか。最近の世界の株式市場で特徴的なのは、「同じ業種の中でも、上がる株と上がらない株の格差が非常に大きくなっている」点です。日本の自動車業界でいえば、トヨタの株価は堅調に推移する一方、一部メーカーは業績面の課題もあり株価が伸び悩んでいます。アメリカの半導体業界でも、エヌビディアは大きく株価を伸ばしましたが、同じ半導体セクターでも、その他の銘柄はそれほど上昇していないケースも多く見られます。業種をざっくりと選ぶだけでは、こうした二極化の波に対応しきれません。そこで私が提案しているのが、「縦割りの業種」ではなく「横串のテーマ」で銘柄を選ぶという考え方です。たとえば、「電機」「機械」「自動車」といった従来の業種区分ではなく、「AI」「自動運転」「脱炭素」「インド」「コンテンツ・IP」といった共通テーマに沿って、日本・米国をまたいで有望な企業を拾っていくイメージです。最近では、こうしたテーマに関連する企業をまとめて投資できるファンドも多く設定されており、個別株と組み合わせながら活用していくことが有効と考えています。特にAI(人工知能)は今年も大きな話題となりました。「ChatGPT」をはじめ、実際に触れた方も多いと思いますが、一方で「AI関連銘柄はバブルなのではないか」といった声も聞かれます。私自身、今年3月にシリコンバレーを訪れ、エヌビディアやテスラなどの企業を回りましたが、現地の感覚としては、AIは「二十数年前のインターネット」に近い位置づけだと感じました。かつてインターネットが普及する過程では、ソフトの技術に加え、それを動かすパソコンやスマートフォンといったハードの進化が車の両輪となりました。同じように、これからAIが本格的に社会実装されていくうえでは、「AIを動かす箱(ハード)」が重要なポイントになります。その「箱」として、私は大きく2つの分野に注目しています。

1つは「自動車」、もう1つは「ロボット」です。アメリカ・ロサンゼルスではすでに無人タクシーが市街地を走行しており、周囲のデータをセンサーで取得し、AIが瞬時に解析して走行を制御しています。テスラの自動運転車に乗ると、アクセルやハンド

ル操作のほとんどをAIが担っており「自動運転は遠い未来の話」ではなく、すでに日常の風景になりつつあることを実感します。

もう一つのロボット分野では、日本国内でも製造業を中心に、人手不足を補う形でロボット導入が進んでいます。ロボットの「頭脳」としてAIが搭載されることで、いわゆる「フィジカルAI」が現場で活躍する時代が近づいています。この自動車とロボットの2つの分野は、日本企業が長年培ってきた技術力を生かしやすい、いわば「お家芸」の領域です。今年もAIそのもの、特にアメリカ企業に注目が集まりましたが、来年以降は「AIを動かすための日本の技術」センサー、部品、ロボット、制御技術などにも、世界の投資マネーが向かう可能性が高いと見ています。AI関連以外でも、データセンター向けの電力需要を背景とした「次世代原発(SMR)」や、日本発のアニメ・ゲームなどの「コンテンツ・IP」に対する評価の高まり、そして先ほど触れた「インド関連銘柄」など、いくつかの有望テーマが存在します。いずれのテーマでも共通するのは、「世界的な構造変化の波に、日本企業がどう組み込まれているか」という視点で企業を見ていくことだと考えています。

最後に、「成長企業をどう見分けるか」という点について触れます。投資の世界では、上昇トレンドに乗る「順張り」と、下落した銘柄の反発を狙う「逆張り」という2つの基本的なスタイルがありますが、ここ数年の世界市場の実態を見ると、「強い会社にとことんついていく」というスタンスの重要性が増しています。株価水準がすでに高くとも、その企業の競争力が強く、成長ストーリーが続く限り、株価もさらに高値を更新していくケースが少なくありません。その際に、私が特に重視しているのは「利益」ではなく「売上(トップライン)」の成長です。利益はコストコントロールによってある程度操作が可能ですが、売上は市場からの支持・需要の強さを反映する指標です。年率30~40%というペースで売上が伸び続け

ている企業は、長期的にも大きな成長余地を持つと考えられます。逆に、売上が頭打ちになり、コスト削減やリストラで利益だけをなんとか維持している企業は、いずれ成長の限界が意識されるリスクがあります。「この会社の売上は中長期で伸び続けているか」というシンプルな物差しを一つ持ち、日本企業・海外企業を問わず、強いトップラインを維持している企業に注目していくことが、これからの株式投資ではより重要になってくると考えています。

総じて、来年以降も世界の株式市場は決して悲観一色ではなく、むしろ追い風の要素も多いと見ています。ただし、「何でもかんでも上がる相場」ではなく、「強い会社と弱い会社の明暗がはっきり分かれる相場」であることを前提に、テーマと企業の選別を丁寧に行っていくことが重要です。

今回の内容が、皆さまの今後の資産運用やビジネスのご参考となれば幸いです。

ニコニコ BOX~ ¥24,000-

- ☆出席委員会の卓話です。 上村真一
- ☆小川様卓話よろしくお願ひ致します。
- 山浦・上代・永田・池田・中村・杉・君塚
- 三井啓・浅野正敏・鈴木健治・中島貞好
- 宮野・朝戸・遠藤・安宅・市原・稲山
- ☆欠席が多くてすみません。 安宅
- ☆皆さんお元気ですか。 葉山
- ☆今年もあと1か月を残すところになりました。ご自愛ください。 杉山
- ☆岡山・福井・金沢へ行きました。 石渡
- ☆ニューリバーロードレースご協力
- よろしくお願ひ致します。 上代
- ☆長期工事出張で長らくお休みしました。
- 山浦会員にもお力添えを頂き、帰って来ることが出来ました。 伊藤

友愛 BOX~ ¥4,000-

☆ロータリーに在るおかげで
毎年1回思い出します。 浅野正幸

近隣クラブ例会日		例会場					
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフ倶楽部	11/28	54	51	45	86.53
火曜日	八千代中央R.C	ウイシュトンホテル・ユーカリ					
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館					
水曜日	佐倉中央R.C	ウイシュトンホテル・ユーカリ 最終ホート夜間					
木曜日	佐倉R.C	佐倉商工会議所					
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館					

11月のロータリーレート1ドル¥154-

- クラブ広報委員会 委員長：花島文成 副委員長：寺沢一三
- 出席委員長：大曾根 直※欠席の際は必ず月曜日迄に出席委員長に連絡して下さい
- 例会日：金曜日 12:30~13:30
- 例会場：パツ・ウヰータ(〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F:FAX047-450-0050)